＼＼子ども・若者支援情報メルマガ　Vol.77 2023.4月号 ／／

支援情報等のお知らせ

１）子ども・若者支援協議会からのお知らせ
①　自立支援ガイド「発達特性のある子ども・若者の支援」が完成

２）自立支援に関するイベント等の情報
①　ひきこもり家族教室『ひきこもり』とは
②　県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ１９」
③　イベント初開催『THIS is ME』みんなちがってみんないい
④　群馬県自閉症協会　一般セミナー（伊勢崎、館林・邑楽会場）

３）民間活動団体等の紹介
①　桐生市　ボランティア学習支援「はるかぜ学習会」

１　新編　子ども・若者の自立支援ガイド（支援者の皆さんへ）「発達特性のある子ども・若者の支援」【乳幼児期～学齢期】完成！

県子ども・若者支援協議会では新たに「発達特性」をテーマにした新たな支援ガイドを作成しました。

＜ガイドの巻頭文から＞
県子ども・若者支援協議会では高校中退や中卒後進路未決定で学校等の支援から離れてしまった方が「新たな一歩」を踏み出せるよう支援していますが、これまでの対象者の中に発達の特性が起因したと思われる「不登校・ひきこもり状態」の方がいました。
人間関係のトラブル、繰り返す失敗での自信喪失、頑張りすぎた結果の心身不調、強いこだわりによる忌避等、二次的な問題を引き起こしていました。

このガイドは、発達障害の診断の有無に関係なく発達の特性がある本人やその御家族が抱える悩みや不安・心配に対して、その社会的自立に向けた相談・支援に関する情報をライフステージ（年齢）ごとにまとめました。
今回の前編は、乳幼児期・学齢期における御家族の不安・心配ごとへの対応が中心です。次回の後編では、思春期・青年期等における本人の不安・心配ごとへの対応を中心にまとめる予定です。

【前編の内容】
①ライフステージに応じた切れ目ない相談・支援の実現に向けて
②御家族が語る「我が子の発達障害と向き合うことの不安・心配」
③専門医師が語る「子どもに出会った時に考えること
④御家族の不安・心配に対応する身近な相談・支援機関の役割
　・乳幼児期　・学齢期
⑤児童相談所の役割
⑥その他　令和４年度「県・市町村青少年相談担当職員研修会」
⑦資料編　【支援機関連絡先一覧】

注）支援ガイドは学校や相談機関等には順次送付しています。
　　ガイドを希望される方は県HPからダウンロードできます。
　　https://www.pref.gunma.jp/page/200377.html

【問い合わせ先】
群馬県子ども・若者支援協議会
（県児童福祉・青少年課青少年育成係）
電話　027-226-2393
e-mail　kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

２ 4/27 ひきこもり家族教室『ひきこもり』とは

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に家族教室を開催します。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学んでみませんか。
家族教室は前半を「家族教室」、後半は「家族の居場所」としています。ご家族自身の気持ちにゆとりを持っていただく機会になれば幸いです。

■教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。

■「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、
本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

■支援者の方の参加もお待ちしております。
まずはご連絡ください。

■県のホームページに使用するテキストを掲載しています。
こちらからダウンロードしてください。

https://www.pref.gunma.jp/07/p11710028.html#hikikomori

【家族教室】
教　室：4月27日（木）13:30～16:00　※第３木曜日
内　容：『ひきこもり』とは
会　場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町３６８）
連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル　027-287-1121

＜参加者の声＞
「皆さんのお話から元気をいただけた」
「工夫できるところが見つかった」
「気持ちに余裕が持てるようになった」
「選択肢が広がった」 etc...

３ 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ１９」チケット転売トラブルが急増中！

全国の消費生活センター等に寄せられる、興行チケットのインターネットにおける転売に関する相談が増加傾向にあります。
特に20代の若い世代を中心に、ライブチケットを購入しようとしたところ、転売仲介サイトやSNSを利用してトラブルにあう事例が目立っています。

【相談事例】
・転売仲介サイトと気づかずに、高額なライブチケットを購入してしまった
・転売仲介サイトで購入したチケットでは入場できないことにあと

から気づいた
・SNSで知り合った個人にライブチケット代金を振り込んだ後、
連絡が取れなくなった

【トラブル防止のポイント】
・チケットは公式の販売サイトから購入しましょう
・転売仲介サイトを利用する場合は、購入するチケットの転売が
禁止されてないか確認しましょう
・チケットの不正転売は法律で禁止されているので、絶対にしない
ようにしましょう

※詳しい内容はこちらをご確認ください（国民生活センターＨＰ）
https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20220804_2.html

★こまったら、まず相談！！
消費者ホットライン「１８８（いやや！）」

《お問い合わせ》
群馬県消費生活センター　０２７－２２３－３００１
https://www.pref.gunma.jp/05/c0900056.html

４ 5/6 イベント初開催『THIS is ME』みんなちがってみんないい

高崎で「ラーメン屋のおかみ」を自称する加藤優子さんが、初めて企画・主催するイベントです。

息子さんが０歳の時に「他の子とは違います」と指摘を受けた衝撃をきっかけに、その遅い成長の支援にいろいろな方に携わっていただきながら、様々な障がいのある方々の世界を知ったそうです。
障がいがあることで外食ができないでいる方にもラーメンを食べていただきたいと思い、ご主人が営むラーメン店の分店としてキッチンカー「空の舌」を製作、毎週、県立小児医療センターに出店したり、各地に出かけたりしています。

息子さんが早期療育で作った紙粘土作品に出合った時に、素直に「素敵だな」と感じたそうです。障がいのある方の作品をもっと多くの人に見て欲しい、障がいのあるなし関係なくあるがままの姿を感じて欲しいと思い、知り合いに呼びかけてイベントを企画したそうです。

■　『THIS is ME』とは
これはわたし、これがわたし、きみにはちがいがどうみえる？
まがってみえる？　まちがってみえる？
ふつうってなに？　おなじであるひつようがある？

だれでもひとつピカピカしたものがかならずどこかにかくれていて
そのピカピカをさがすことが　このあるいているみち
きみはきみのままでいい　そのままでいい　そのままがいい

■　イベント
日時　５月６日（土）　１１時～１４時
会場　ＲＯＯＭＳ　ＳＴＡＮＤＡＲＤ
前橋市元総社町８２３（駐車場に限りがあります）
内容　ＡＲＴ、ＥＡＴ、ＷＯＲＫＳＨＯＰ
線引きのない世界を来場者の皆さんに知っていただきます
大人も子どももハンディキャップのある人もない人も
みんな一緒に楽しめるイベントです

詳細は加藤さんのツイッターをご覧ください
https://twitter.com/joshusanzokumen

５　群馬県自閉症協会　一般セミナー（伊勢崎、館林・邑楽会場）案内

群馬県自閉症協会では自閉スペクトラム症についての正しい知識の獲得と情報交換の場として県内各地で一般セミナーを開催しています。
県子ども・若者支援協議会では、同協会からの情報提供をもとに本メルマガに随時掲載していきます。

一般セミナーはどなたでも参加できるので、希望される方は各会場の事務局に直接お申込みください。
なお、各会場とも新型コロナウイルス感染対策を守り実施するので参加にあたっては御理解、御協力をお願いします。

注）参加申込みは全て事前予約制（当日受付はありません）です。

【５月】
①　伊勢崎会場
第１回　５月１４日（日）10:00～11:45（受付9:45）
テーマ　「自閉症って何？」
講師　群大医学部小児科・ＮＰＯ法人　ＳＵＮ-Tatebayashi
岡田　恭典先生
会場　伊勢崎市民プラザ　３階　第１・２実習室
（伊勢崎市富塚町２２０－１３）
参加費　一般５００円
申込み　090-5503-7671　甘田（13:00～17:00対応）
メール：k.amada1959@gmail.com

②　館林・邑楽会場
第１回　５月２１日（日）9:45～11:45（受付9:30）
テーマ　「自閉スペクトラム症（ＡＳＤ）の学び方って？」
講師　岡田こどもクリニック　ＳＵＮ-Sano
山口　結衣先生
会場　館林市渡良瀬公民館（館林市足次町４８３）
参加費　一般５００円
申込み　090-1998-6592　スガヌマ（10:00～19:00対応）
メール：asd.gunma.tikutai.tatebayashi@gmail.com

各セミナーの詳細は自閉症協会のＨＰをご覧ください。
https://autism-gunma.com/

６　民間活動団体等　桐生市　ボランティア学習支援「はるかぜ学習会」

主任児童委員の研修会など通して「子どもの貧困」に関心を持ったのがきっかけで、貧困の連鎖を断ち切るためには教育の格差を解消していく必要性を強く感じるようになり、地元で学習意欲のある子どもたちを支援したいと考え始めました。
そこで主任児童委員の仲間を通じて「子どもの学習支援」に取り組んでいる方を紹介していただき開設にご協力をいただけることになりました。

早速、地元で支援者を募り公民館を活動拠点とする「相生ボランティア学習会運営委員会」を立ち上げ事務局を担当することになりました。
運営委員会は元中学校長を会長に、地元の小中ＰＴＡ会長をはじめ民生・児童委員、主任児童委員らで構成し、学習会の運営方法や参加者の

募集方法などを話し合っていきました。
　指導者も現役会社員や会社をリタイアされた社会人の２名を確保し、学校や公民館を通して参加者募集の広報活動を行いました。

　2016年にスタートした「無料学習会」は、毎週土曜日の夕方５時から２時間（現在は事前申込制）開催しています。
　家では落ち着いて勉強に集中できない、学校や塾で学んだことがよく理解できないなど、「集中して勉強したい！」「苦手を克服したい！」といった子どもたちがこれまでに参加してくれ、英検にチャレンジする子どもも出てきて順調に活動していました。
　しかし、コロナ渦をきっかけに中止が相次ぎ参加人数も減ってしまい徐々に学習会を中止する日が増えてきました。

　今後（2023年4月）コロナ自粛が解除されていくなか、再び学習意欲のある子どもたちに参加を呼びかけ、これまでと同様に参加希望者はだれでも受け入れていきたいと思っています。
　また、指導者のボランティアも随時募集しています。

　活動の様子、連絡先はＨＰをご覧ください。

　https://harukaze-s-s.jimdofree.com/

次号は、2023年5月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

群馬県子ども・若者支援協議会

▼　事務局　群馬県前橋市大手町１－１－１　群馬県生活こども部
　　児童福祉・青少年課内（県庁舎　１２階南フロア）
▼　ＴＥＬ　０２７－２２６－２３９３
▼　ＦＡＸ　０２７－２２３－２１００
▼　e-mail　kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
▼　ＨＰ　http://smilelife.pref.gunma.jp